

朝日山だより



(Hさん と Fさん)

(誕生日会にてプレゼント受け渡し)



(Fさんの余暇時間)

社会福祉法人 あさひ会

生活介護事業所 朝日山学園・グループホーム ひまわり・こすもす

ヒューマンサポート タッチ・佐賀県発達障がい者支援センター結

〒841-0073

佐賀県鳥栖市江島町字西谷3300-1

TEL (0942) 84-3266

FAX (0942) 84-3286

E-Mail : asahiyaama@grace.ocn.ne.jp

『障がい者虐待について』

朝日山学園 施設長 高取 正憲

平成24年10月1日「障害者虐待防止法」が施行されました。この法律は、障がい者の尊厳を守り、自立や社会参加の妨げにならないよう、虐待を禁止するとともに、その予防と早期発見のための取り組みや、障がい者を現に擁護する人に対して支援措置を講じることなどを定めたものです。



虐待には叩く、殴るなどの「身体的虐待」、性的暴力をふるうなどの「性的虐待」、怒鳴る、拒絶的な反応を示すなどの「心理的虐待」、食事を与えない、意図的に無視するなどの「放置などによる虐待」、強制的に通帳を管理する、本人の了解を得ずに現金を引き出すなどの「経済的虐待」が主たるものとして上げられます。

更にこの法では虐待者、被虐待者本人の「自覚」は問わないとされています。つまり、「指導やしつけ、教育」の名の下に不適切な行為を続けていたり、知的障がいを有する為に自分が虐待されていると思っていなかったりすることがあった場合にも虐待みなされるということです。

平成25年度、都道府県・市町村における障がい者虐待の状況調査では養護者による虐待が1,811人、障がい福祉施設従事者などによる虐待が455人となっています。

今年に入り、県内外でも虐待報道を見聞きされた方も多いかと思えます。以下今年大きく取り上げられた事件です。

・佐賀県は20日、知的障がい者らが入所する県立障害者支援施設「佐賀コロニー」（河原祐一郎所長）で、20代男性職員が、知的障がいの40代男性入所者を膝で蹴る虐待が起きたと発表した。男性は右あばら

骨にひびが入る全治6週間のけがを負った。県はこの職員による同様の事例が他にもなかったか調査し、処分する。

- ・知的障がい者の方達が利用する山口県下関市の指定障がい福祉サービス事業所「大藤園」（利用者数55人、支援員数11人）で利用者を暴行したとして、山口県警は10日、同園の元支援員を暴行容疑で逮捕し、施設などを捜索した。県警は、別の複数の施設関係者が暴行する映像があるとして、虐待が常態化していた可能性もあるとみて調べている。

- ・県は、入所者を部屋に拘束する虐待があったとして、鳥栖市の障がい者グループホームに改善を勧告した。施設側は責任者を交代させるなど改善を進めている。勧告は3月12日。県によると、施設が知的障がいなどのある女性入居者を2週間ほど鍵のかかるトイレ付きの個室に入れていたことが、今年に入り判明。施設側は「女性が無断で施設を出て行ってしまったために行った」と説明しているが、県は障害者虐待防止法をもとに、「過剰な措置で、虐待に当たる」と判断した。県は施設のサービス管理責任者が知的障がいのある男性の顔に触れたり、大声で話しかけたりした行為も虐待にあたるとしている。

これらの虐待は、障がいを有された方の支援をしている私達にとっては人事ではありません。利用者を支援する中で言葉も伝わらず、指示も通らず、暴れたり、噛み付いたり、叩いたりと様々な状況を目にしてきました。その様な状況の中で冷静沈着に対応していくことが求められるのが私たちです。しかし、福祉や介護の仕事は低賃金重労働のイメージが定着したこともあってか、多くの高齢者施設、障がい者施設は慢性的な人材不足に陥り、結果として何の知識や経験も無く福祉



の仕事に付く方も多く、障がいをもたれた方の対応に日々思い悩み、新聞で取り上げられた様な悲しい出来事に繋がることも少なくないのではと思います。

とは言え、虐待を肯定することは出来ません。朝日山学園でも虐待は何時でも起こりうる事と認識するとともに、そうならない様に虐待に対しての認識を深める為の研修の実施や、利用者一人ひとりの障がい特性や対応を理解し、支援者一人で問題を抱え込むことが無いよう、協力し合いながら日々の支援に取り組んで行きたいと思っています。

前述の社会的な構造の問題も含めて虐待がない社会を築くことが出来るよう願います。

☆散歩支援について・・・



『利用者の日中活動における、散歩支援について』

朝日山学園 生活支援員 光野 晃一

朝日山学園では、利用者の方の活動の一つとして「園外散歩」に取り組んでいます。午前中、儀徳町の沼川ジョギングコース(往路 1.6km)を往復し、雨天時は、近隣の店舗軒下を歩いています。利用者の方々も



散歩時は大変生き生きと足取りも軽く、楽しみの活動と見受けられます。散歩支援では、歩きやすい箇所はどこか、障がい物が転倒に繋がらないか、利用者スタッフの距離感も意識しながら付き添っています。また、近隣の場所で散歩を行う事で、地域の方々とのふれあい、朝日山学園の利用者の方を知って頂く機会として大事にしているところです。

私は、今年の3月、熊本にある発達療育センターの研修に参加し、センターが取り入れている活動に触れる事が出来ました。活動は、一日を通して「体を常に動かす」「眠たくなる環境を作らない」「暇が出来ないようにする」事を心掛け、小刻みに時間が振り分けられ「作業・散歩・運動」が多いスケジュールでした。散歩では、利用者・スタッフほぼ全員が道路で列を作り、必ず手を繋いで、体を動かす事、皆で取り組むことで達成感を分かち合う事、障がい特性で集団活動が苦手な場合、段階を踏みながら皆に溶け込めるよう全面的にスタッフがバックアップし、協調性を育む事を大切にしておりました。皆で行い、環境の変化に触れる事は、散歩の醍醐味だと思います。考え方一つで、ただ歩くことから、よりよい散歩に発展していく事を学びました。

今後も学園で散歩支援を行っていくにあたり、今回の研修で学んだ事を十分に活かしながら、利用者の気持ちであったり、表情の変化・積極性といったニーズも含めて大切にしていきたいと思っております。

☆行事報告・ピクニック（5月）



『ピクニックについて』

グループホームひまわり 世話人 矢羽多 勇気

5月といえば、やってまいりました！朝日山学園恒例行事のピクニックです。今年は、人数編成で約3週間の期間で実施しました。最近のピクニックでは、地域のスーパーやコンビニでの買物をする機会を設け、利用者の方が好きなお菓子、ジュースを購入していましたが、今回は事前に



注文したお弁当を店内へ取りに行ったり、現地で実際に注文し、お弁当を受け取るような取り組みを行いました。受け取る際もお店に事前にお願ひし、一人ひとり、袋に入れてもらい受け取る形を行う事が出来ました。いつものピクニックでは、事前にスタッフが利用者の方のお弁当を取りに行き、公園についてから配布と違い、今回のお弁当は一味、二味も違ったのではと思います！受け取った時のほんのりとしたお弁当の温かさ。車の中では公園に着くまで膝の上に置いていたら良い匂いがして食欲も倍増したと思います。

又、利用者の方の楽しみの一つになればと公園の中にある自動販売機で好きなジュースを購入する機会を設けました。みなさん、普段から買い慣れているようで、スムーズに購入され、お弁当の前に飲まれたり、食後にゆっくりと飲まれたりと、飲み方は色々ありました。

昨年まで私は、大勢で出かけるグループのピクニックに付き添う事が多かったのですが、今年は小人数のグループに付き添い、大人数の時とは違う雰囲気、注意の仕方、スケジュールの組み方を学ぶ事ができ、良い経験をさせてもらいました。

5月の雨が降る日が多い中、お弁当だけを食べて、外で思いっきり遊べる機会がなかった方も出てしまいました。来年はその様な事がなく、外で思いっきり遊べる時間を作れる様にしていきたいと思います。



☆ボランティア募集しています

朝日山学園では、日中活動のお手伝いをして頂ける方を募集しています。活動内容は、利用者の方との散歩や作業のお手伝いです。

連絡をお待ちしています。(TEL 0942-84-3266 係 橋口まで)

◎新しい利用者の紹介



やかべ ゆうき
矢加部祐伎 さん

平成27年4月より朝日山学園に通われ、リサイクル作業や運動に取り組まれています。

すてきな笑顔に私達スタッフも力をもらっています。これからもよろしくお願ひします。

◎新しい職員の紹介



いけだ
池田めぐみ さん

平成27年7月より、朝日山学園の生活支援員として働いています。

利用者の皆さんに寄り添い、思いを理解していただける様に頑張りたいと思います。よろしくお願ひ致します。



ますなが みほ
増永美穂 さん

平成27年8月より、朝日山学園の支援員として働いています。

障がいについて学び、利用者の皆さんが満足して頂ける様な支援を目指したいと思います。よろしくお願ひ致します。

◎寄付者ご芳名

平成27年2月～27年7月にご寄付頂いた皆さまです。いつも温かいご支援ありがとうございます。

愛甲 強 様	伊東 スマエ 様	岡 みどり 様
於保 定夫 様	上尾 央子 様	権藤 美世子 様
末藤 久美子 様	角 勲 様	永家 カツヨ 様
原口 敏子 様	林 良子 様	福島 ツル子 様
松雪印刷所 様	松村 純代 様	浅井簡易郵便局 様

▣編集後記

「虐待を自分が今行っている」という自覚のある人は殆どいないのではないか。「自分はこれでよい」という思いで行う、つまり、「これでよい」という根本が違っている。

先日、当法人の理事長より頂いたコメントの一部です。

思いを言葉にできない、表現があったとしても伝え方が分からない、その方達の気持ちを考える事は、簡単な事ではありません。悩み、苦悩する事もあるでしょう。しかし、支援者が一人で抱え込まず、投げ出さず、皆で、その方を中心に据えて一生懸命考えていく事の先に見えてくるものがあると思います。本当の支援の根本とは、そういうところから



生まれ、共通認識へと発展していくのかもしれませんが。

「相手の立場に立つ」福祉現場でよく言われてきた言葉を、もう一度真摯に掘り下げて考えてみたいと思います。 (橋口)

<平成26年度会計報告>

○その他の財務諸表はホームページ上でも公開しております。

* 平成26年度より新会計基準へ移行した為、事業活動計算書の前年度決算の表示が無い箇所があります。

第2号の1様式

事業活動計算書
(自) 平成26年 4月 1日 (至) 平成27年 3月31日
社会福祉法人あさひ会

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
介護保険事業収益	2,131,990	2,131,990	0
障害福祉サービス等事業収益	171,699,893	171,699,893	0
経常経費寄附金収益	764,533	764,533	0
その他の収益	24,000	24,000	0
サービス活動増減差額(1)	174,620,416	174,620,416	0
人件費	126,184,258	126,184,258	0
事務費	17,577,312	17,577,312	0
事業費	9,240,530	9,240,530	0
減価償却費	8,590,658	8,590,658	0
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 3,329,533	△ 3,329,533	0
その他の費用	158,263,225	158,263,225	0
サービス活動増減差額(2)	16,357,191	16,357,191	0
借入金利息補助金収益	52,113	52,113	0
受取利息配当金収益	81,406	81,406	0
投資有価証券評価益	2,359,718	2,359,718	0
投資有価証券売却益	2,493,237	2,493,237	0
その他のサービス活動外収益	1,192,209	1,192,209	0
サービス活動増減差額(3)=(1)+(2)	17,658,219	17,658,219	0
施設整備等補助金収益	1,192,209	1,192,209	0
施設整備等寄附金収益	1,301,028	1,301,028	0
固定資産受贈額	49,790	49,790	0
固定資産売却益	49,790	49,790	0
その他の特別収益	49,790	49,790	0
特別増減差額(4)	49,790	49,790	0
特別増減	49,790	49,790	0
基本金組入額	776,949	776,949	0
資産評価損	776,949	776,949	0
固定資産売却損・処分損	16,931,060	16,931,060	0
固定資産除却・廃棄費用	127,632,298	127,632,298	0
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	144,563,358	144,563,358	0
国庫補助金等特別積立金積立額	0	0	0
その他の特別損失	0	0	0
特別増減差額(5)=(4)-(5)	△ 727,159	△ 727,159	0
特別費用計(9)	776,949	776,949	0
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 727,159	△ 727,159	0
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	16,931,060	16,931,060	0
前期繰越活動増減差額(12)	127,632,298	127,632,298	0
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	144,563,358	127,632,298	16,931,060
基本金取崩額(14)	0	0	0
その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
その他の積立金積立額(16)	6,350,000	6,350,000	0
次期繰越活動増減差額	138,213,358	127,632,298	10,581,060
	(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		

第1号の1様式

資金収支計算書
(自) 平成26年 4月 1日 (至) 平成27年 3月31日
社会福祉法人あさひ会

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
介護保険事業収入	2,025,000	2,131,990	△ 106,990	
障害福祉サービス等事業収入	177,816,000	171,699,893	6,116,107	
借入金利息補助金収入	626,000	764,533	△ 138,533	
経常経費寄附金収入	44,000	52,113	△ 8,113	
その他の収入	2,272,000	2,383,718	△ 111,718	
流動資産評価益等による資金増加額	182,783,000	177,032,247	5,750,753	
人件費支出	132,970,200	126,184,258	6,785,942	
事業費支出	19,547,500	17,577,312	1,970,188	
事務費支出	10,764,500	9,240,530	1,523,970	
その他の支出	1,230,000	1,192,209	37,791	
流動資産評価損等による資金減少額	164,512,200	154,194,309	10,317,891	
事業活動支計(2)	18,270,800	22,837,938	△ 4,567,138	
施設整備等補助金収入	49,790	49,790	0	
施設整備等寄附金収入	49,790	49,790	0	
設備資金借入金収入	8,173,743	8,173,743	0	
固定資産売却収入	8,173,743	8,173,743	0	
固定資産除却・廃棄支出	8,173,743	8,173,743	0	
ファイナンス・リース債務の返済支出	8,173,743	8,173,743	0	
その他の施設整備等による支出	△ 8,123,953	△ 8,123,953	0	
施設整備等支計(5)	8,173,743	8,173,743	0	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 8,123,953	△ 8,123,953	0	
長期運営資金借入金収入	6,350,000	6,350,000	0	
長期貸付金回収収入	173,904	173,904	0	
投資有価証券売却収入	0	0	0	
積立資産取崩収入	0	0	0	
その他の活動による収入	0	0	0	
その他の活動収入計(7)	6,350,000	6,350,000	0	
長期運営資金借入金元金償還支出	6,350,000	6,350,000	0	
長期貸付金支出	173,904	173,904	0	
投資有価証券取得支出	0	0	0	
積立資産支出	0	0	0	
その他の活動による支出	0	0	0	
その他の活動支出計(8)	6,350,000	6,350,000	0	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 6,350,000	△ 6,350,000	0	
予備費支出(10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	3,796,847	8,190,081	△ 4,393,234	
前期末支払資金残高(12)	133,907,226	133,907,226	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)	137,704,073	142,097,307	△ 4,393,234	

貸借対照表
平成27年 3月31日現在

社会福祉法人あさひ会

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増 減	勘定科目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	164,114,267	151,894,102	12,220,165	流動負債	22,016,960	17,986,876	4,030,084
現金預金	138,089,247	127,117,148	10,972,099	事業未払金	21,090,385	17,161,917	3,928,468
現金	94,449	145,890	△ 51,441	預り金	306,694	251,544	55,150
預金	137,994,798	126,971,258	11,023,540	職員預り金	619,881	573,415	46,466
事業未収金	23,820,948	22,488,006	1,332,942	仮受金			
未収補助金				固定負債	720,000	720,000	0
立替金	1,688,308	1,376,671	311,637	長期預り金	720,000	720,000	0
前払費用	515,764	912,277	△ 396,513	負債の部合計	22,736,960	18,706,876	4,030,084
仮払金							
固定資産	227,904,113	222,492,667	5,411,446	純資産の部			
基本財産	99,198,759	100,630,325	△ 1,431,566	基本金	93,804,638	93,804,638	0
土地	36,977,180	36,977,180	0	国庫補助金等特別積立金	46,201,804	49,531,337	△ 3,329,533
建物	62,221,579	63,653,145	△ 1,431,566	その他の積立金	91,061,620	84,711,620	6,350,000
その他の固定資産	128,705,354	121,862,342	6,843,012	人件費積立金	42,724,200	42,724,200	0
土地				修繕積立金	25,200,000	25,200,000	0
建物	20,834,210	22,050,176	△ 1,215,966	備品等購入積立金	12,626,420	11,776,420	850,000
構築物	4,215,546	4,682,501	△ 466,955	施設整備等積立金	5,500,000		5,500,000
機械及び装置				移行時特別積立金	5,011,000	5,011,000	0
車輛運搬具	3,446,729	3,546,194	△ 99,465	次期繰越活動増減差額	138,213,358	127,632,298	10,581,060
器具及び備品	6,683,928	4,256,128	2,427,800	(うち当期活動増減差額)	16,931,060		16,931,060
建設仮勘定							
有形リース資産							
権利							
ソフトウェア	771,107	1,188,369	△ 417,262				
無形リース資産							
投資有価証券	390,042	308,636	81,406				
長期預り金積立資産	720,000	720,000	0				
積立資産	91,061,620	84,711,620	6,350,000				
人件費積立資産	42,724,200	42,724,200	0				
修繕積立資産	25,200,000	25,200,000	0				
備品等購入積立資産	12,626,420	11,776,420	850,000				
施設整備等積立資産	5,500,000		5,500,000				
移行時特別積立資産	5,011,000	5,011,000	0				
長期前払費用	173,904		173,904				
その他の固定資産	408,268	398,718	9,550				
				純資産の部合計	369,281,420	355,679,893	13,601,527
資産の部合計	392,018,380	374,386,769	17,631,611	負債及び純資産の部合計	392,018,380	374,386,769	17,631,611